

2012年10月3日

消防大学校

「図解コミュニケーション」

今まで気にしたことが無かった文章が、明日からは見方が変わるかな。

仕事のみならず他の分野でも“鳥の目”を持ちたい。

図解することで根本を見直すきっかけになった。

会議資料作成時に活用します。

図解が欠けると論理的な文章が書ける意味を知った。

図解で物事を説明できることが新鮮だった。組織で情報の共有等に試してみたい。

講義時間が短すぎた。良いヒントをもらえました。

印象に残ったことは“気づき”だと思った。

視点、方向性を変えることで別なものが見えてくるのが分かった。

図解コミュニケーションを使うことは、発想を変える必要を感じた。

初めて聞いた話だった。大変興味がわきました。

今後、マネジメントの時間管理イノベーションの条件など3つの要素を基に、キーワードの関係を考えて、図解コミュニケーションを実施してみたいと思います。

ここ数年来、本庁から通知される文書に図解が多用されている理由が良く分かりました。

遭遇したことのない授業で面白く新鮮だった。単語一つ一つに疑問を持ったこともなかった。今後の考え方に参考になる。

プレゼンに導入していきたい。

今後箇条書きを疑うようにしていきたい。

署に戻り、若い人にとためしてみたい。

私の仕事を図にすることで、見つめ直すことができた。

斬新な方法を、今後の消防行政に活かしたい。

鳥の目を意識し業務に当たりたい。

図解にすると覚えやすい。

頭を柔らかくしていきたいと思います。

新たな気づきがあり、大変新鮮な講義でした。本質は何なのかをしっかりと考え、はき違えないようにしていきたい。

組織の中での自分の位置、つながりを図で表すことにより、漠然と考えていたものを明確に意識することができました。今後の視点再確認に活用していきたい。

感情の表現も、図で表すことができるのか、先生の本を読んでみたい。